



日 本 大 学 教 職 員 組 合 文 理 学 部 支 部 報

さくら号外

発行: 日本大学教職員組合文理学部支部

2019 年 3 月 13 日発行

支部交渉について

恒例の支部交渉の開催が難航しているため、本日、以下の開催要求書を学部当局に手交しました。

日本大学文理学部長 紅野 謙介 殿

日本大学教職員組合文理学部支部
支部長 古川 隆久

支部交渉開催要求書

本支部は、1 月 24 日に支部長古川から学部事務当局を通じて、貴殿に対し支部交渉開催を申し入れ、交渉の内容を記した「支部交渉案件」も手交しました。その際、学部事務当局からは、労働組合との団体交渉は法人本部に一本化されている旨の説明がありましたが、従来学部と本支部の間で事実上の「交渉」が行なわれてきた慣例をふまえて検討を要請し、書面は受理されました。その後、支部長から数度にわたり回答を督促してまいりましたが、3 月 6 日の時点で、なお開催の見込みはたっていない旨の説明を学部事務当局より受けました。

しかし、日本大学教職員組合文理学部支部が文理学部長・執行部と交渉を行うことは、労働組合法第 6 条及び第 7 条に照らして当然の権利です。加えて、上述のように、文理学部においては長きにわたり、日本大学教職員組合文理学部支部と文理学部当局との事実上の「交渉」の場は設定され続けており、このことは、本支部の広報紙『さくら』においても「支部交渉」として経過や結果について報じて来た通りです。

以上の点に鑑み、支部交渉に関する現状は、組合の当然の権利と長らくの労働慣行を無視したものであり、当支部として強く抗議すると共に、下記の通り要求いたします。

記

日本大学教職員組合文理学部支部は、以下の 2 点を、学部長に強く要求する。

1. 支部交渉開催日時を速やかに決定し、その決定した開催日時を文理学部支部長に連絡すること。
2. もし、開催が出来ない場合は、その理由を書面にて、文理学部支部長に通知すること。 以上

新任教職員に対する組合紹介の実施

学部当局との合意により、4 月 1 日の学部による新任教職員説明会終了後、本支部による組合紹介を行うことになりました。これは商学部ですでに実施されていることから、実施を申し入れていたものです。

3 月 21 日シンポジウムのお知らせ

本組合協賛のシンポジウムです。裏面に詳細ご案内を掲載しましたので、ぜひご参加ください。

真に学生ファーストの新しい日本大学像を求めて
< 3・21 シンポジウム >

— 日本大学への“助成金削減”と
“志願者激減”の責任を問う —

「新しい日本大学をつくる会」

—— 新しい日本大学をつくろう ——

このたび日本大学への私学助成金が35%もカットされ、志願者も激減しました。これは昨年5月の「アメフト不祥事」直後から予想されたにもかかわらず、大学として適切な対応がなされず、上記のような最悪の事態を引き起こしました。法人トップとして説明責任を果たさず、逃げ回っている田中英壽日本大学理事長の責任は重大です。その責任を多面的に究明し、真に学生ファーストになる「新しい日本大学」像を提起すること、これが本シンポジウムの目的です。

◆コーディネーター：牧野富夫（「つくる会」代表、日本大学元副総長）

◆パネラー：1. 広田照幸（日本教育学会会長、日本大学文理学部教授）

「教育学者の目からみた日本大学」

2. 沼野輝彦（元法学部長、日本大学元副総長）

「いかに日大首脳の問題を追及するか——訴訟を視野に」

3. 真砂久晃（日本大学非常勤講師雇止訴訟原告団団長、日大ユニオン）

「雇用の安定こそ教育の要諦——裁判闘争の現状」

4. 長沼宗昭（元日本大学教授、新生日大のガバナンスを考える会代表）

「新しい日本大学をめざして」

◆特別発言 奥野康俊（関西学院大学のアメフト被害選手の父親、大阪市議）

「学生のための大学と大学スポーツの信頼回復をめざして」

●主催：新しい日本大学をつくる会

協賛：日本大学教職員組合、日大ユニオン、
新生日大のガバナンスを考える会

●日時：2019年3月21日（木）午後14時～17時

●会場：渋谷区勤労福祉会館 第一洋室

渋谷区神南1丁目19-8

電話：03-3462-2511

●対象：日本大学の再生を望む方（参加費：無料）

※ 会場の収容人数が90人程度ですので、
あらかじめご了解下さい。



渋谷駅ハチ公前から徒歩6～7分 明治神宮前駅から約11分